村上市小学校教育研究会社会科部の取組

1 研究主題

調べて考えたことを表現する力を育てる社会科の指導

2 研究主題設定の意図

学習指導要領では、社会科の目標の一つに「調べたことや考えたことを表現する力」を育てることがあげられている。資料で調べ、調べたことをもとに自分で考える力の育成は従来から大切とされている。それに加えて、言語活動を通じて考えを深めたり、分かりやすいようにまとめたりする表現力も重要視されてきている。そこで、本年度は調べたことや考えたことをもとに、課題の解決策を考え、どのように表現できたかを研究授業を通して探った。

3 事業の実際

○5月 社会科部研究計画の検討

○6月 部会

- ・授業者の決定
- ・役割分担

○10月 指導案検討会

会場 神納東小学校

○11月 研究授業及び協議会

- ・4年「ごみのゆくえ」古井丸裕三教諭（関川村立関川小）

地域の人々の生活にとって必要なゴミの処理について、地域のごみ収集所やごみ収集車、ごみ処理場の見学などを通して調べた。その学習をもとにした発展学習として、東日本大震災のがれき処理（廃棄物の処理）の問題について解決策を考えさせた。

指導者 社会科部 理事 村上南小学校 圓山文堯校長

（文責 神納東小 大滝 英俊）